大学等受験チャレンジ応援事業

問合せ　子育て支援課
☎982-9529 FAX981-5392
社会福祉協議会☎FAX981-8750

若者の受験を応援します！

経済的な理由で大学などの受験が困難な若者に対し、進学を諦めることがないよう「子ども未来応援基金」を通じ、現在・将来に向かって応援するために「大学等受験チャレンジ応援事業」を実施します。

給付金額：7万円（上限）※1試験当たり3万5000円、合計3試験まで

対象者：学校教育法第1条に規定する大学・高等専門学校（第1学年から第3学年までを除く）専修学校（専門学校は含めない）を受験する18歳（平成17年4月2日から平成18年4月1日生まれ）の保護者などで次の要件いずれかに該当する方

①児童扶養手当受給世帯
②事業実施年度分の住民税非課税の世帯
③18歳未満の子ども（事業実施年度に18歳に達する者も含む）が3人以上いる世帯で、高等教育の修学支援新制度の認定を受けた者

申請場所：吉川市社会福祉協議会
申請期間：8月、11月
※一般入試を受験するものに限ります。
※大学などで受験料の全額免除など受けている場合は申請できません。

入学を見据えて教育費の準備もお忘れなく

【教育支援資金】

社会福祉協議会が相談窓口となっている「生活福祉資金」の中の一資金で、世帯の自立を支援するための無利子の貸付制度となっています。原則として、修学する本人が借受人となり、世帯の生計中心者が連帯借受人となります。申請には要件がありますのでご相談ください。また、本資金よりも優先される公的制度があります。

※詳細な内容や申請書などは**社会福祉協議会**へお問い合わせください。

避難情報の発令と避難行動！

問合せ　危機管理課
☎982-9471 FAX981-5392

避難情報の発令と避難行動について

災害時に自治体や気象庁から発令される避難情報などは、5段階の警戒レベルに分けられ、それぞれ住民が取るべき行動を表しています。市から避難情報が出されたときに危険な場所にいる方は、警戒レベル4までに必ず避難してください。

警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	行動を促す情報
5	災害発生又は切迫	命の危険 直ちに安全確保！	緊急安全確保
警戒レベル4までに必ず避難			
4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示
3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難	高齢者等避難
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水・高潮注意報（気象庁）
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報（気象庁）

吉川減災ナビのダウンロードや吉川市メール配信サービスに登録することで、市からの災害情報や緊急のお知らせなどを早く知ることができます。

吉川減災ナビ
[iOS用]
[Android用]
吉川市メール配信サービス
吉川市防災情報 Twitter

洪水時の避難行動

避難は指定された避難場所や安全な知人・親戚宅などに避難する「立退き避難」が基本ですが次の「三つの条件」が確認できれば浸水の危険があっても自宅に留まって安全を確保することもできます。洪水ハザードマップや、浸水ナビで自宅でも避難可能であるか確認しましょう。

①家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていない。
②浸水深より居室は高い。
③水が引くまで我慢でき、水・食料の備えが十分ある。

浸水ナビを活用しよう！

洪水時の被害を最小限にするためには、水害による被害のリスクを認識することが大切です。国土交通省の「浸水ナビ」地点別浸水シミュレーションシステムを活用することで、実際に河川の堤防が決壊（破堤）した場合に「どのくらい浸水するのか」「何時間で浸水が始まるのか」「何日で水が引くのか」などをイメージすることができます。使い方については市ホームページをご確認ください。